

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成31年2月14日 (2019.2.14)

【公表番号】特表2017-508606(P2017-508606A)

【公表日】平成29年3月30日 (2017.3.30)

【年通号数】公開・登録公報2017-013

【出願番号】特願2016-548194(P2016-548194)

【国際特許分類】

B 0 1 J 29/78 (2006.01)

B 0 1 D 53/86 (2006.01)

F 0 1 N 3/10 (2006.01)

F 0 1 N 3/28 (2006.01)

【F I】

B 0 1 J 29/78 Z A B A

B 0 1 D 53/86 2 2 3

B 0 1 D 53/86 2 4 5

B 0 1 D 53/86 2 8 0

F 0 1 N 3/10 A

F 0 1 N 3/28 3 0 1 P

【誤訳訂正書】

【提出日】平成30年12月26日 (2018.12.26)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ディーゼルエンジンの排気ガスを処理するための酸化触媒であって：

第 1 の白金族金属 (P G M) 及び第 1 の支持材を含む、一酸化炭素 (C O) 及び炭化水素 (H C) を酸化するための第 1 のウオッシュコート領域；

白金 (P t)、マンガン (M n) 及び第 2 の支持材を含む、一酸化窒素 (N O) を酸化するための第 2 のウオッシュコート領域、並びに

入口端及び出口端を有する基材；

を備え、第 2 のウオッシュコート領域が、基材の出口端において、排気ガスが第 1 のウオッシュコート領域と接触した後で、排気ガスと接触するように配置され、

白金 (P t) が、第 2 の支持材上に配置又は支持されており、

マンガン (M n) が、第 2 の支持材上に配置又は支持されており、

第 2 の支持材が、シリコンまたはその酸化物でドーブされたアルミナを含む耐火性金属酸化物を含み、及び

第 2 のウオッシュコート領域のゼオライトの含有量が 5 重量 % 以下である、酸化触媒。

【請求項 2】

第 2 のウオッシュコート領域が、基材の出口端に配置された第 2 のウオッシュコートゾーンである、請求項 1 に記載の酸化触媒。

【請求項 3】

第 1 のウオッシュコート領域が、基材の入口端に配置された第 1 のウオッシュコートゾーンである、請求項 1 又は 2 に記載の酸化触媒。

【請求項 4】

第 1 のウオッシュコート領域が第 1 のウオッシュコートゾーンであり、第 2 のウオッシュコート領域が第 2 のウオッシュコートゾーンであり、第 1 のウオッシュコートゾーンと第 2 のウオッシュコートゾーンは単層として基材上に配置される、請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の酸化触媒。

【請求項 5】

第 1 のウオッシュコート領域が第 1 のウオッシュコート層であり、第 2 のウオッシュコートゾーンが第 1 のウオッシュコート層上に配置されている、請求項 2 に記載の酸化触媒。

【請求項 6】

第 1 のウオッシュコート領域が第 1 のウオッシュコート層であり、第 2 のウオッシュコート領域が第 2 のウオッシュコート層であり、第 2 のウオッシュコート層が第 1 のウオッシュコート層の上に配置される、請求項 1 に記載の酸化触媒。

【請求項 7】

第 2 のウオッシュコート層が基材の全長にわたって延びている、請求項 6 に記載の酸化触媒。

【請求項 8】

第 2 のウオッシュコート領域が、唯一の白金族金属として白金 (Pt) を含む、請求項 1 から 7 のいずれか一項に記載の酸化触媒。

【請求項 9】

第 2 のウオッシュコート領域がゼオライトを含まない、請求項 1 から 8 のいずれか一項に記載の酸化触媒。

【請求項 10】

第 1 の白金族金属 (PGM) が、白金 (Pt)、パラジウム (Pd) 及びこれらの組合せからなる群より選択される、請求項 1 から 9 のいずれか一項に記載の酸化触媒。

【請求項 11】

第 1 の支持材が、アルミナ、シリカ、チタニア、ジルコニア、セリア及びこれらのうちの二つ以上の混合若しくは複合酸化物からなる群より選択される耐火性金属酸化物を含む、請求項 1 から 10 のいずれか一項に記載の酸化触媒。

【請求項 12】

第 1 の支持材が、ドーパントでドーブされたアルミナを含む、請求項 11 に記載の酸化触媒。

【請求項 13】

第 1 の支持材が、シリカでドーブされたアルミナを含む、請求項 12 に記載の酸化触媒。

【請求項 14】

第 1 のウオッシュコート領域が炭化水素吸着材を更に含む、請求項 1 から 13 のいずれか一項に記載の酸化触媒。

【請求項 15】

第 1 のウオッシュコート領域がアルカリ土類金属を更に含む、請求項 1 から 14 のいずれか一項に記載の酸化触媒。

【請求項 16】

第 1 のウオッシュコート領域がマンガン又はその酸化物を含まない、請求項 1 から 15 のいずれか一項に記載の酸化触媒。

【請求項 17】

第 3 のウオッシュコート領域を更に含む、請求項 1 から 16 のいずれか一項に記載の酸化触媒。

【請求項 18】

第 3 のウオッシュコート領域が、基材の上に直接配置されている、請求項 17 に記載の酸化触媒。

【請求項 19】

第 3 のウオッシュコート領域が、第 1 のウオッシュコート領域及び / 又は第 2 のウオッシュコート領域の上に配置されている、請求項 1 7 又は 1 8 に記載の酸化触媒。

【請求項 2 0】

第 3 のウオッシュコート領域がゼオライト触媒を含み、ゼオライト触媒は、貴金属、ゼオライト、及び任意選択的に卑金属を含む、請求項 1 7 から 1 9 のいずれか一項に記載の酸化触媒。

【請求項 2 1】

貴金属がパラジウムである、請求項 2 0 に記載の酸化触媒。

【請求項 2 2】

ゼオライトが、A E I、C H A 又は A E I - C H A 連晶であるフレームワークタイプを有する小孔径ゼオライトである、請求項 2 0 又は 2 1 に記載の酸化触媒。

【請求項 2 3】

基材がフロースルー基材である、請求項 1 から 2 2 のいずれか一項に記載の酸化触媒。

【請求項 2 4】

請求項 1 から 2 2 のいずれか一項に記載の酸化触媒及び排出制御装置を備える排気システム。

【請求項 2 5】

排出制御装置が、リーン NO_x トラップ (L N T)、アンモニアスリップ触媒 (A S C)、ディーゼルパティキュレートフィルター (D P F)、選択的触媒還元 (S C R) 触媒、触媒化スートフィルター (C S F)、選択的触媒還元フィルター (S C R F^{T M}) 触媒、及びこれらのうちの二つ以上の組み合わせからなる群より選択される、請求項 2 4 に記載の排気システム。

【請求項 2 6】

ディーゼルエンジンと、請求項 1 から 2 3 のいずれか一項に記載の酸化触媒又は請求項 2 4 又は 2 5 に記載の排気システムとを備える、車両又は装置。

【請求項 2 7】

ディーゼルエンジンの排気ガスの処理方法であって、排気ガスを請求項 1 から 2 3 のいずれか一項に記載の酸化触媒と接触させること、又は排気ガスを、請求項 2 4 又は 2 5 に記載の排気システムに通過させることを含む方法。

【請求項 2 8】

ディーゼルエンジンの排気ガス中の一酸化窒素 (N O) の酸化を増強するための、ディーゼルエンジン用酸化触媒におけるマンガン (M n) の使用であって、酸化触媒が請求項 1 から 2 3 のいずれか一項に記載の酸化触媒である、使用。